

2017年度 シラバス

科目名	生理学
開講時間	45コマ ・ 90時間
担当講師	
単位数	3単位
教育目標	柔道整復師として必要な、体の仕組みを幅広く理解する。柔道整復師資格取得を目指し、解剖学的知識や1年次に修得した基本的な生理学の知識を基に、深く掘り下げて生体機能を理解することを目指す。
授業概要	講義形式で、生命現象のしくみを学ぶ。
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2年次生理学ガイダンス 2. ～ 4. 第8章 尿の生成と排泄 5. ～ 6. 第12章 体液の生理学 7. ～10. 第5章 消化と吸収 11.～13. 第6章 栄養と代謝 14. 定期試験 15. 試験解説 16. ～18. 第7章 体温とその調節 19. ～22. 第9章 内分泌系の機能 23. ～25. 第10章 生殖 26. ～28. 第11章 骨の生理学 29. 定期試験 30. 試験解説 31.～33. 第15章 筋肉の機能 34.～36. 第16章 神経の基本機能 37.～39. 第14章 神経系の機能 40.～43. 第16章 感覚の生理学 44. 定期試験 45. 試験解説
テキスト・配布資料	生理学 南江堂 随時、関連資料配布
評価方法	筆記試験 ・ 実技 ・ レポート提出 ・ 授業内評価 ・ その他()
参考図書	柔道整復師国家試験 傾向と対策 南江堂 みえる人体 構造・機能・病態 南江堂
その他	配布資料は時系列ニファイリングシ、自習時に有効活用すること、2学期は国家試験に向けて、単元毎に復讐をしつつ過去問の解説も実施する。

2017年度 シラバス

科目名	理学療法概論 I
開講時間	15コマ・ 30時間
担当講師	
単位数	1単位
教育目標	理学療法について理解し、理学療法士になることへの自覚を深める
授業概要	理学療法の歴史や定義、関連法規、職業内容について学ぶことにより、理学療法の職業を理解する
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1.オリエンテーション、理学療法の概念と歴史 2.理学療法士の法律 3.理学療法の関連法規 4.理学療法の意義と役割 5.理学療法の対象 6.理学療法の方法(障害の把握と問題点の抽出、運動療法・物理療法) 7.ICIDHとICF 8.理学療法士の歴史 9.理学療法士教育 10.医療・保健分野の理学療法 11.地域リハビリテーションと理学療法 12.医療事故とリスクマネジメント 13.個人情報の管理と対象者の権利 14.理学療法士を目指す学生に求められるもの 15.定期試験 16.試験解説
テキスト・配布資料	理学療法学テキスト I 理学療法概論 第4版
評価方法	筆記試験・実技・レポート提出・授業内評価・その他()
参考図書	
その他	

2017年度 シラバス

科目名	神経眼科学Ⅱ
開講時間	8コマ・ 15時間
担当講師	
単位数	1単位
教育目標	
授業概要	国家試験のために重要な皮膚から末梢にいたる病変を学び、鑑別診断から治療までを系統立てて理解する。
授業内容	2年次で学習した神経眼科学Ⅰの復習を行う。
テキスト・配布資料	
評価方法	筆記試験・実技・レポート提出・授業内評価・その他()
参考図書	
その他	

2017年度 シラバス

科目名	神経眼科学 I
開講時間	15コマ・ 30時間
担当講師	
単位数	2単位
教育目標	国家試験のために重要な皮膚から末梢にいたる病変を学び、鑑別診断から治療までを系統立てて理解する。
授業概要	皮膚から末梢にいたる病態を学び、鑑別診断から治療までを系統立てて理解する。
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1.神経解剖学 I 2.神経解剖学 II 3.視神経疾患 I 4.視神経疾患 II 5.乳頭の異常 6.斜交叉、後頭葉の病変 7.高次脳機能障害 8.眼疾患と全身疾患 9.眼球運動障害 10.眼振と眼振様運動 11.瞳孔異常 12.眼瞼と顔面表情筋の障害 13.眼窩疾患と海面静脈洞病変 14.偏頭痛、その他の頭痛 15.試験 16.試験解説
テキスト・配布資料	神経眼科 臨床のために 第3版
評価方法	筆記試験・実技・レポート提出・授業内評価・その他()
参考図書	
その他	